



令和7年1月21日

広報資料

**根室港・花咲港及び周辺海域等の津波防災情報図を作成しました！
～船舶の津波対策にお役立てください～**

海上保安庁では、内閣府が公表している海溝型地震モデル「千島海溝（十勝・根室沖）」及び「日本海溝（三陸・日高沖）」を基にしたシミュレーション結果により、花咲港・根室港及び周辺海域と新冠町至広尾町の「津波防災情報図」を作成し本日公開しました。

海上保安庁では、津波被害から船舶をはじめ人命・財産を守るため、巨大地震発生時を想定した避難計画に役立つ「津波防災情報図」を作成しています。

北海道の「津波防災情報図」は、令和4年から「函館港」、「室蘭港」、「苫小牧港」、「釧路港」、「十勝港」及び各周辺海域について順次作成・公開しています。今回、「根室港・花咲港」及びその周辺海域を新たに公開しました。また、昨年度「千島海溝（十勝・根室沖）モデル」で公開した新冠町至広尾町に、新たに「日本海溝（三陸・日高沖）モデル」の「津波防災情報図」を追加しました。

「津波防災情報図」には、地震発生後の津波の到達時間、津波の進入による最大水位上昇と引潮による最大水位低下、各地点における津波の進入・引潮時の最大流向・流速等の情報が掲載されており、船舶の避難計画策定に必要な参考資料として活用できます。

○津波防災情報図の入手方法

津波防災情報図は下記の Web ページで公開しています。

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/tsunami/index.html>

津波防災情報図とは

津波防災情報図とは、内閣府から公表された巨大地震等の断層モデルに基づいて地震・津波をシミュレーションして得られた津波の挙動を図とアニメーションにより表現したものです。

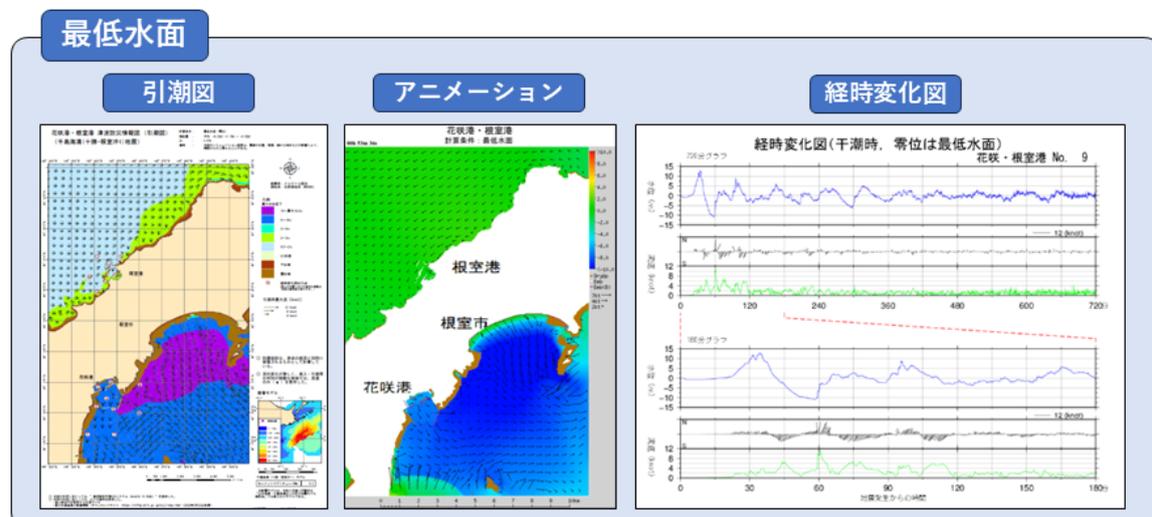
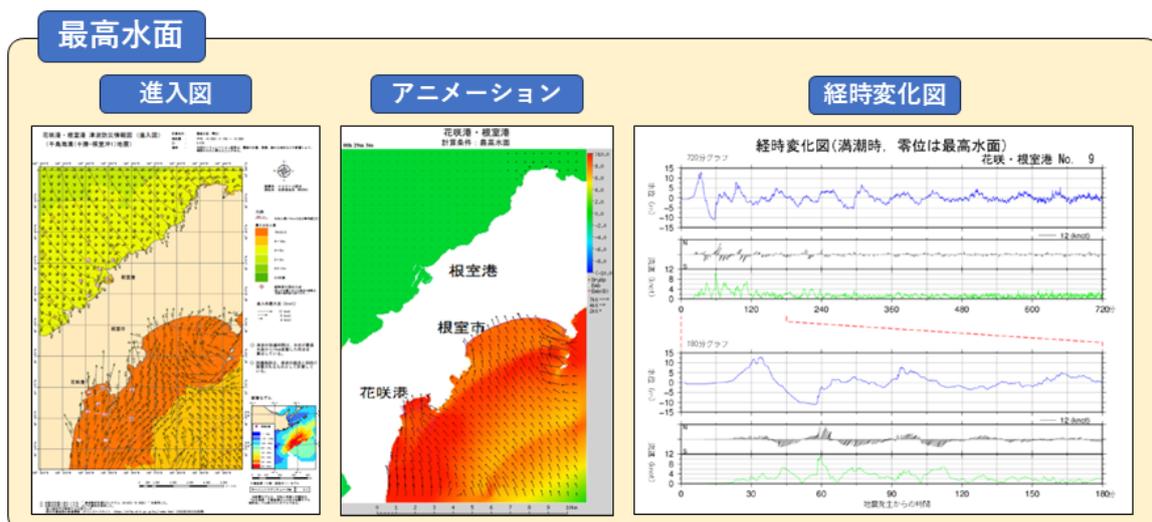
アニメーションは、地震発生から津波が襲来してきたときの海面の上下変動と流れの変化を動画にまとめたものです。

図には進入図と引潮図の2種類あります。

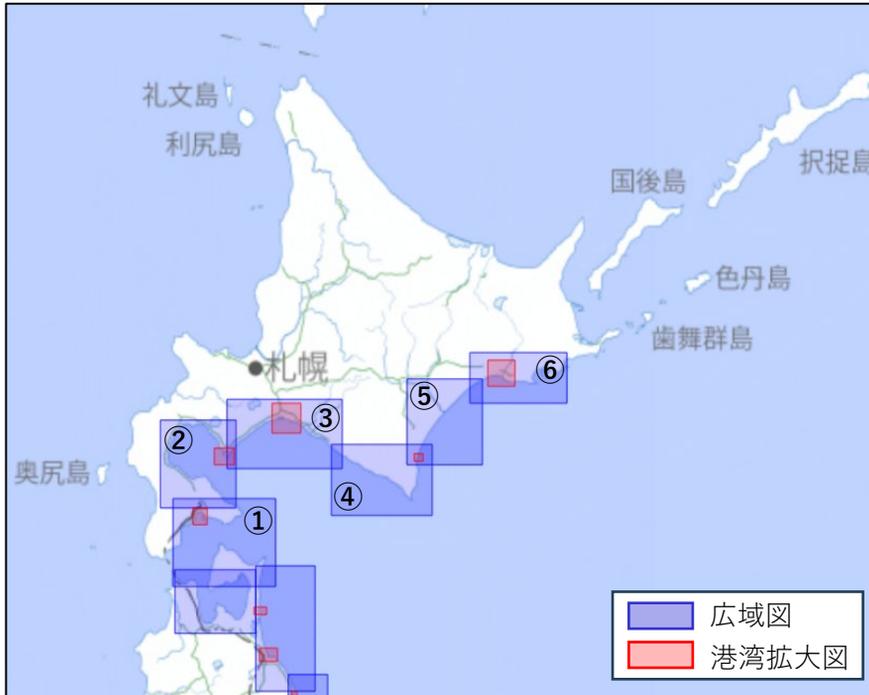
進入図は満潮の時間帯に津波が襲来したと仮定し、海面が最も高くなった時の高さともっと速い流れを記載した図です。

引潮図は干潮の時間帯に津波が襲来したと仮定し、海面が最も低くなった時の高さともっと速い流れを記載した図です。

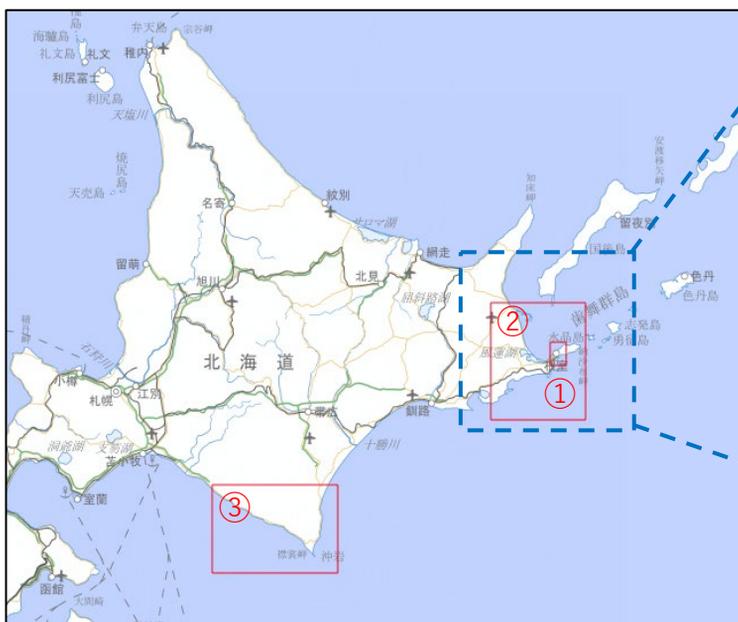
なお、進入図には地震発生から津波が到達するまでの時間が読み取れるように、等時線を記載しています。また、港の入り口や岸壁前面等の主要な地点における海面の上下変動と流れの向きと速さをグラフ化した経時変化図も作成しています。



令和5年までの津波防災情報図整備区域



令和6年度の津波防災情報図整備区域



- ①花咲港・根室港（千島海溝モデル）
- ②厚岸町至標津町広域図（千島海溝モデル）
- ③新冠町至広尾町広域図（日本海溝モデル）